



北海道自治研

2009年
4月16日~18日

出会いがはぐくむ「地域の公共の力」

第32回地方自治研究全国集会北海道実行委員会 TEL.011-747-3211
〒060-0806 札幌市北区北6条西7丁目 北海道自治労会館2F FAX.011-700-2053



財政の悪いところを情報共有 名前:
フカマル [2009/04/17,16:45:51] No.190

夕張分科会の4人目のレポート発表は、自治研究センターおかやまの「岡山県自治体財政白書 2001-2006」作成の取り組みです。

この取り組みに至ったのは、岡山県での合併があり(78→27市町村)、その総括をしないとこのあとに続かないのではないかとこの考えからでした。

財政分析をすると行き着くところに交付税問題になり、これには基準財政需要額のしきみを知ることが必要になる。

議会・住民・自治体職員が、財政の

悪いところの情報を共有することが大事である。そのためには、わかりやすい情報の提供が必要になる。また、共有することでお互いの監視ができるようになる。財政分析は、所詮分析に過ぎず、最後は自分たちで予算(交付税も含め)を作れるようになることが最終目的であろう。

今日の会場の話題なども取り入れながら、テンポの良い口調でのお話に思わず「そうですね！」と心の中でつぶやきながら聞かせていただきました。(^^)